

分類	リスクと機会の項目	リスク	機会	対応策	リスク・機会の高まる時間軸	インパクト	
移行リスク	政策・法規制	炭素税の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社の取り扱い商品が炭素税対象となり、市場から疎外される</li> <li>炭素税が発生し、コストが発生する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの活用</li> <li>環境配慮型製品の開発・設計</li> </ul>	中期	★★★	
	政策・法規制	法規制(省エネ法等)の強化・厳格化	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ法が厳格化し、自社努力だけでは法令順守が難しくなる</li> <li>再生可能エネルギー(再エネ)需要が高まり、エネルギー使用量に見合った再エネが調達できなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な働き方の提案・コンサルティング機会が増加する</li> <li>多様な働き方を支援することによりお客さまのCO<sub>2</sub>排出量削減貢献につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量削減ロードマップに則った継続的な省エネ活動の実施</li> <li>CO<sub>2</sub>排出量の少ない配送車両への切り替え</li> </ul>	中期	★★
	技術	研究開発の遅れ、競合の激化	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮対応の製品開発のために開発スピードが鈍化する一方、社会的潮流により競合企業が増加し収益悪化につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方の実証実験を起点としたお客さまの働き方改革支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場変化の的確な把握とソリューションビジネスの拡大</li> </ul>	中期	★★
	市場	既存市場の縮小、調達コスト増	<ul style="list-style-type: none"> <li>主力事業の縮小により、収益が減少する</li> <li>原材料の調達コストが増加する</li> <li>世界情勢の変化により電気、燃料が高騰する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素・サーキュラーエコノミーにつながる製品・ソリューションが販売拡大する</li> <li>カーボン・オフセット製品が販売拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な働き方ができるソリューションの提供</li> <li>環境配慮型製品の開発・設計</li> </ul>	中期	★★
	評判	ステークホルダーの行動変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮対応の遅れにより、ステークホルダーからの評判を毀損し、顧客の購買活動や投資家からの資金調達が困難となる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤーと協働での持続可能な調達活動の実施</li> </ul>	中期	★★★
物理的リスク	急性	ゲリラ豪雨等異常気象の頻発化・大型化	<ul style="list-style-type: none"> <li>異常気象被害により、予定どおりの生産体制が維持できず供給に支障が出る</li> <li>生産拠点を移動せざるを得なくなる</li> <li>サプライチェーンの断絶等による部品未入荷での操業停止</li> <li>工場設備から二次災害が生じ、地域社会に支障を及ぼす可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまの働き方改革が進展することにより、お客さまのBCPIに貢献する</li> <li>自社の拠点を見直すことにより、事業の見直し・強化ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクハザードマップの作成</li> <li>予防対策の実施</li> <li>環境変化に合わせたBCPの見直し</li> </ul>	短期	★★★
	慢性	平均気温の上昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温上昇により、品質などのニーズを満たす木材の調達が困難になる</li> <li>自然素材等の生産量、生産適地が変化する</li> <li>生産性の低下や健康被害の深刻化、コストアップの発生</li> <li>オフィスの在り方が変化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動に適応した製品・サービスの販売が拡大する</li> <li>従業員の作業環境改善により、満足度が向上する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な木材調達活動の実施</li> <li>気温変化に応じた作業環境の整備</li> </ul>	長期	★★